

株式の状況

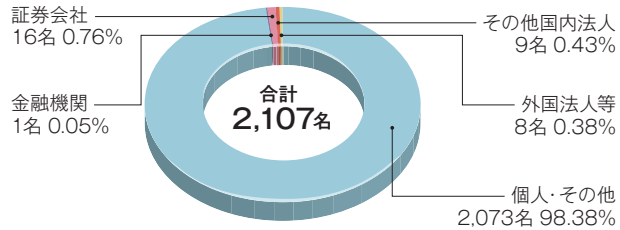
(平成29年4月30日現在)

| | |
|------------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 12,400,000株 |
| 発行済株式の総数 | 3,409,000株 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主数 | 2,107名 |
| 大株主（上位10名） | |

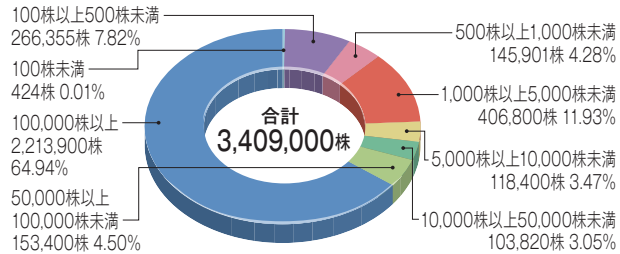
| 株主名 | 持株数 | 持株比率（注） |
|-------------|----------|---------|
| 現代商事株式会社 | 975,000株 | 28.60% |
| 高山守男 | 914,200 | 26.82 |
| 株式会社光通信 | 324,700 | 9.52 |
| 高山明美 | 90,000 | 2.64 |
| 株式会社SBI証券 | 63,400 | 1.86 |
| マネックス証券株式会社 | 35,120 | 1.03 |
| 森山加寿恵 | 17,300 | 0.51 |
| 楽天証券株式会社 | 17,000 | 0.50 |
| 大内清 | 12,900 | 0.38 |
| 日本テレホン社員持株会 | 11,200 | 0.33 |

(注) 持株比率は、小数点第3位を四捨五入しております。

所有者別株主分布状況



所有株数別株式分布状況



日本テレホン 株式会社
NIPPON TELEPHONE INC.

大阪本社 〒530-6009 大阪市北区天満橋一丁目8番30号 OAPタワー9階
TEL.06-6881-6611(代) FAX.06-6881-6599

東京本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿三丁目2番4号 新和ビル2階
TEL.03-3346-7811(代) FAX.03-3346-7809

<http://www.n-tel.co.jp>

株主メモ

- 事業年度 5月1日から翌年4月30日まで
 - 定時株主総会 毎年7月
 - 基準日 定時株主総会 4月30日
期末配当 4月30日
中間配当を実施のときは10月31日
 - 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 - 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 - 同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (フリーダイヤル)
 - 公告方法 電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
なお、電子公告は当社ホームページに掲載しており、そのアドレスは次のとおりです。
<http://www.n-tel.co.jp>
 - 上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)
- ※株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
※特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。



ホームページのご案内

<http://www.n-tel.co.jp>

当社のホームページでは、最新のIR情報を掲載しておりますので、どうぞご利用ください。



BUSINESS REPORT

第29期 株主通信

平成28年5月1日～平成29年4月30日

Innovator on the Intelligent Network

日本テレホン 株式会社

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第29期（平成28年5月1日～平成29年4月30日）の事業概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 高山 守男

平成29年7月

事業の概況

BUSINESS REPORT

移動体通信関連事業

当事業年度における移動体通信関連事業におきましては、キャリア間のサービスや料金体系に大きな違いがなくなっている中で、携帯電話機の販売とあわせて、光回線の獲得やアクセサリ等の付帯商品の販売等、通信以外のサービス提供に注力してまいりました。

また、店舗毎のサービス品質の評価により左右される手数料収入獲得においては、お客様のニーズに沿ったきめ細やかな提案ができるように、従業員研修等で付加価値提案力の向上に取り組む、収益性向上に努めてまいりました。

しかしながら、総務省による「実質0円」販売の廃止等の影響により販売台数・単価の下落が激しく、格安スマホ等の販売を強化し売上高および収益面の改善を図りましたが、販売台数・単価の下落を補うまでには至らず、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高におきましては、4,272百万円（販売台数48千台）と前事業年度における売上高 5,138百万円（販売台数52千台）に比べ 866百万円（販売台数4千台減）減少、率にして16.9%（販売台数8.8%減）の減少となりました。

リユース関連事業

当事業年度における中古携帯電話機「エコたん」の販売を始めとするリユース関連事業におきましては、中古携帯電話機の調達において、法人チャネルの国内外における新規開拓や、提携先の買取強化施策等を実施いたしました。

この結果、売上高におきましては、673百万円（販売台数59千台）と前事業年度における売上高 663百万円（販売台数50千台）に比べ 10百万円（販売台数8千台増）増加、率にして1.5%（販売台数16.2%増）の増加となりました。

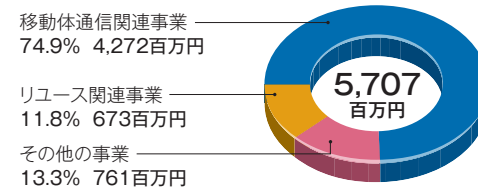
また、中古携帯機器の普及と健全化を目指す業界団体「リユースモバイル・ジャパン（RMJ）」を同業他社と共同設立し、中古携帯機器の認知度向上に努めてまいりました。

その他の事業

当事業年度におけるその他の事業のうち、固定通信関連事業におきましては、従来のビジネスモデルからの転換を企図したコールセンター事業に注力してまいりました。その結果、売上高は大幅に伸長しましたが、前事業年度より継続的に受注してありましたコンサルティング案件が当事業年度の上期に終了したことに伴い、下期の収益環境は厳しい状況で推移いたしました。

この結果、コールセンター事業分野におきましては、売上高291百万円と前事業年度における売上高 192百万円に比べ 99百万円増加、率にして51.4%の増加、その他の事業分野全体では、携帯コンテンツ収入や携帯アクセサリ商品の販売収入等を加え、売上高は761百万円と前事業年度における売上高615百万円に比べ145百万円増加、率にして23.7%の増加となりました。

事業部門別売上高構成比



財務諸表

FINANCIAL STATEMENTS

貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当期末 平成29年4月30日現在 | 前期末 平成28年4月30日現在 |
|------------|---------------------|---------------------|
| < 資産の部 > | | |
| 流動資産 | 948 | 1,204 |
| 固定資産 | 482 | 518 |
| （有形固定資産） | (95) | (96) |
| （無形固定資産） | (13) | (15) |
| （投資その他の資産） | (374) | (405) |
| 繰延資産 | 1 | 1 |
| 資産合計 | 1,432 | 1,724 |
| < 負債の部 > | | |
| 流動負債 | 584 | 753 |
| 固定負債 | 125 | 171 |
| 負債合計 | 710 | 925 |
| < 純資産の部 > | | |
| 株主資本 | 721 | 799 |
| 資本金 | 634 | 634 |
| 資本剰余金 | 304 | 304 |
| 利益剰余金 | △ 218 | △ 140 |
| 純資産合計 | 721 | 799 |
| 負債・純資産合計 | 1,432 | 1,724 |

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

| | 当期 平成28年5月1日から 平成29年4月30日まで | 前期 平成27年5月1日から 平成28年4月30日まで |
|---------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高 | 5,707 | 6,417 |
| 売上原価 | 4,092 | 4,627 |
| 売上総利益 | 1,615 | 1,790 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,673 | 1,756 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △ 58 | 33 |
| 営業外収益 | 3 | 23 |
| 営業外費用 | 7 | 10 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △ 62 | 45 |
| 特別利益 | — | 2 |
| 特別損失 | 12 | 42 |
| 税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△) | △ 75 | 5 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3 | 6 |
| 法人税等調整額 | △ 1 | △ 0 |
| 当期純損失(△) | △ 77 | △ 0 |

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 当期 平成28年5月1日から 平成29年4月30日まで |
|---------------------|-----------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △ 61 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 16 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 73 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △ 117 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 233 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 115 |

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概況

(平成29年4月30日現在)

| | |
|-----|------------|
| 商号 | 日本テレホン株式会社 |
| 設立 | 昭和63年6月 |
| 資本金 | 6億3,472万円 |

取締役および監査役

(平成29年4月30日現在)

| | |
|---------|---------|
| 代表取締役社長 | 高 山 守 男 |
| 取締役 | 岡 田 俊 哉 |
| 取締役 | 有 馬 知 英 |
| 取締役 | 森 永 博 幸 |
| 取締役(社外) | 小 西 敏 夫 |
| 監査役(常勤) | 茶 谷 喜 晴 |
| 監査役(社外) | 川 口 義 信 |
| 監査役(社外) | 加 藤 清 和 |

店舗

(平成29年4月30日現在)

